

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
538冊(302人) 1/11現在

(自分に自信と夢を～いまをだいに、なかまとともに、一歩前進をめざして～) 校長 宮脇真一

1月1日の令和6年能登半島地震では多くの方が命を落とされ、また、2週間が経過した今なおインフラの回復が成されず不自由な生活を余儀なくされている皆様の状況を鑑み、例年と同じような新しい年を迎えての年頭のご挨拶を申し上げますことについては控えさせていただきます。

学校では、登校初日の全校集会の中で、全ての児童・職員が黙祷を捧げることで、亡くなられた皆様への哀悼、行方不明の皆様の無事な生還をお祈りしたところです。

一日も早く、そして少しでも状況が回復することを願う毎日です。また、大津は熊本地震の際に大きなダメージを受けた町です。児童をはじめ保護者の皆さん、先生方が気持ちを穏やかに過ごしていけることも願っています。気持ちの面でお困りの際は、遠慮なくご相談ください。

気持ちを新たに ～もう一歩、前進～

今年最初の全校集会で、黙祷のあと「備える」をテーマに次の話をしました。

- 1 次の学年に「備える」
 - ・3月までの授業日：52日（6年生は51日）
 - 「一歩前進した次の自分の姿」をイメージして、毎日の学びを充実させること。
 - 6年生が披露してくれた「獅子舞」の意味
 - ・小さな積み重ねを引き続き大事に。「さん・くん・ちゃん」の励行（なかまをだいに）
- 2 「いのち」を大事にするために「備える」
 - ・今回の震災や航空機事故に学ぶこと。「備え」の大切さ。
 - 「避難訓練」でどれだけ「想定」できるか。言われたことをただ「言われるまま」にするので、大事な「いのち」を左右することもあること。
 - 今回のCAの皆さんの動き、乗客のみなさんの動きを例に。
- 3 様々な学びに「備える」
 - ・2月27日は台湾・福山小学校とのオンライン交流（5・6年生英語）。
 - ・6月には台湾・福山小学校からのなかまを大津小に迎える予定。
 - 校長が先方を訪問した際に、温かく迎えてくれたこと。今度はその御礼。

無病息災 ～6年生の獅子舞～

登校初日の児童玄関には、暮れから6年生が準備してくれていた「獅子舞」が登場し、朝の登校を迎えてくれました。軽快な太鼓のリズムに合わせて、無病息災・学力成就を願っての縁起物の登場で、最初はひいていた子どもたちも、徐々に集まって賑わいを見せてくれました。6年生、ありがとう。

